

9～12か
月
ころ

ハイハイ→つかまり立ち→つたい歩き→ひとりで立つという大きな変化があらわれる時期です。指先を器用に動かせるようになり小さなものをつまんだり、放したり、運んだり。知っているものや好きなものを指差して教えてくれるようになります。成長のスピードもその子の個性。個人差があることを忘れないでください。他人と比べる気持ちは、子どもにも伝染します。特にママが心配性の場合は、パパの役割は重要です。

先輩パパより 子どもはママの笑顔が好きだから

ママのケア

子どもから目が離せないで、ママの行動も制限されます。子どもの食事や片付けなど、誰の仕事かではなく、連携プレーでお互いに頼れるパートナーに成長していく。

私のクセやことばを「まねっこ」するので
すごく感動しました。
記録しておけば
よかった！



卒乳のとき3日間
夜泣きと格闘で大変で
した。パパの協力は
大切です。



ご飯を自分で食べようと
したり、感情表現も豊か
になってきて、「赤ちゃん」から「子ども」へと
少しずつ変わっていくの
を感じる！



子どもの記録

年
月 日

体重 g
身長 cm

子どもの様子

子どもと遊ぼう！パパはおだづもっこ！

「ぎっこんばったん」や「高い高い」といったアクティブな遊びを喜びます。視線の位置が変わることも楽しさの一つ。歌や楽器も大好きです。

気い張んねでさっ

発達で気になることがあったら

体験談

先輩パパより

我が子は我が子

我が子が1歳半になった頃、そろそろ言葉が出るころかなと期待していました。ところがなかなか言葉が出ません。3歳頃になりようやくパパ、ママなどの簡単な一語文が出るようになりました。しかし同時に、大好きな人形を持って遊んでいると突然投げ出してパニックになるなど、気になる行動が目立つように。子どもには発達の個人差があるし、他の子よりも少し違うだけだと思いたかったのですが、一方で我が子のこれから先の社会生活を考えると、不安。適切なアドバイ

を受けた方が良いと思い、発達の専門機関に見てもらうことを決めました。発達検査により発達障害の傾向がややあることがわかり、最初はショックを受けました。しかし、具体的な支援方法のアドバイスを受け、子育ての方向性がかめたため、希望を持つことができました。今では、パニックの原因がわかり、言葉の使い方にも成長が見られます。発達障害があっても我が子は我が子と思い、子どもの成長を願う気持ちに変わりはないことに気づきます。

先輩パパより

どう接していいか

妻は、息子の発達のことで悩んでいて、色々調べたりしていましたが、初め私は、なかなか理解することができませんでした。でも、相談したり、色々なアドバイスを頂きながら、少しずつ発達のことを受け入れるようになりました。父の立場から、どう接していいか悩みましたが、専門の先生のお話を聞いて「そういうものか、自分の子どもだし、そのまま受け入れて、やれ

ることをやろう」「やりたいこと、みんなさせてやりたい」「息子に向いていることを見つけてやりたい」と考えるようになりました。子どもの向き、不向きを見極めていいところを伸ばしてあげられればいいのかなど思いました。子どもの情報を共有して、子どもへのフォローの仕方や、どう対応するか夫婦で話し合うようにしています。

先輩ママより

聞いて

どう育てていったらと悩んでいる時、やっぱりパパの存在は大きいです。仕事で疲れているかもしれないけれどママの話を聞いてほしい。一番は、子どもの成長をパパとママ一緒に喜べることです。子どもが笑顔で暮らせるようにふたりで頑張りましょう。

先輩ママより

あれ、もしかして

夫に初めて子どもの発達に対しての不安を打ち明けた時「お前の言う普通ってなんだよ」と言われました。しかし、自分でも子どもの行動で思うことがあったのか、調べたり、私の話を聞くうちに、夫は「あれ、もしかして」と思うようになったようです。毎日の生活では、私の方が頭ではわかっているのに些細なことでイライラしてしまいます。そんなときには話を聞いてくれたり、ひとりの時間をもらうなど、なんらかのフォローがあると助かります。



～お子さんの事で気になることがあったら、ぜひ市役所の保健師にご相談ください！～
石巻市健康推進課 ☎0225-95-1111(代表) 内線2422

WOW!!

ひやっとした瞬間

パパアンケート

- 子どもをお風呂の中につかり立ちをさせてすぐ、ふと見たら子どもがお風呂で溺れるところでした。お風呂での油断は危険です!
- 飴はひとりで舐めさせると危ない。のどに詰まって声が出ない状態で、子どもが自分をたたいて知らせてくれたことで気づいた。
- 子どもには開けられないだろうと思っていた市販の薬瓶が開けられて、薬が散乱していた。
- 歩行器に乗っていて玄関に落ちた。
- 子どもが1歳の時、1階の出窓からあわや転落!落ちる瞬間に手をつかんで事なきをえた。
- テーブルの温かい料理に手を突っ込んだ。
- 子どもが道路へ飛び出した。
- 車で走行中にドアを開けようとした。
- 少し目を離したら迷子になってしまった。
- まだヨチヨチ歩きのわが子が包丁を持ち出して歩いているのを見たとき。

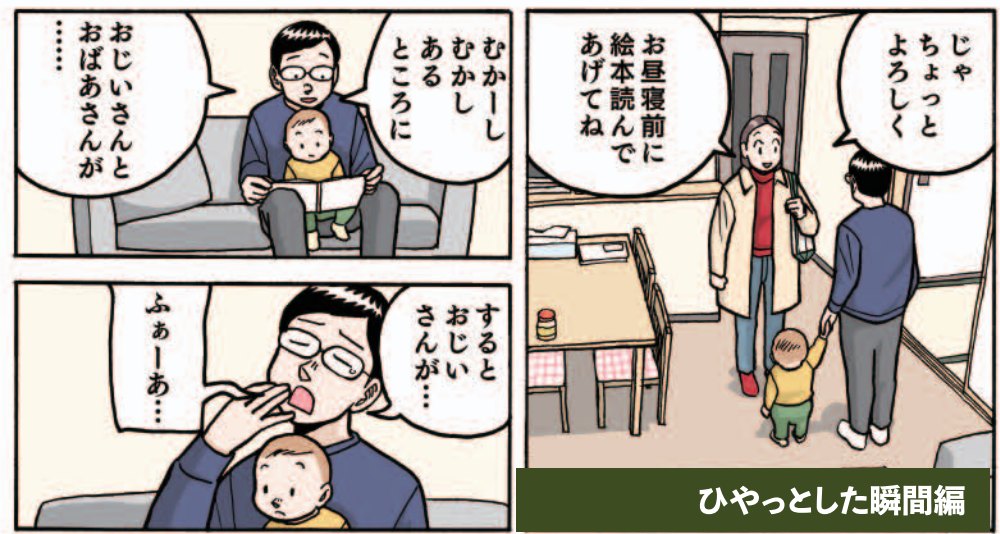


【おすすめHP】
こどもの救急
子どもの事故と対策



パパアンケート「こんなことを大切にしています」

- ★ 極力テレビや携帯電話の画面を見せないようにしています。
- ♪ のびのび育てほしいので危ないこと以外は好きに行動させます。
- ★ 頭ごなしには怒らず、気持ちを聞いてから注意するようにしています。
- ♪ 笑わせること。
- ★ 風呂は必ず自分が入れる。
- ♪ 沢山遊んで体を動かすこと。
- ★ 子ども本人の考えを尊重しています。
- ♪ 父母ふたり同時に叱らない。
- ★ 互いを尊重し合う。(夫婦間、親子間)
- ♪ デリカシーを大切に。
- ★ 自由に遊ばせる。
- ♪ 絵本を読み聞かせる。音楽を聞かせる
- ★ 夫婦ゲンカは子どもの前でしない。
- ♪ 子どもと一緒に過ごす時間を大事にしています。
- ★ 子どもと前向きな言葉で会話する様に心掛けている。
- ♪ 何事も体験させることを大切にしています。
- ★ うまくいったときは喜んで褒めます。
- ♪ 人生は楽しいんだよ、ということを伝える。
- ★ 朝ごはんは全員で。
- ♪ 無視はしない。
- ★ 今を大切にする
- ♪ 駄目なことは駄目と教えている。
- ★ 目を見て、話しかける。笑顔で接する。
- ♪ 挨拶を大切にしている。
- ★ やりたいことは、まずやらせる。



ひやっとした瞬間編

1~2歳ころ

ハイハイから、歩き始める頃になると、赤ちゃん体型から幼児らしい体つきに変わります。怒って泣いたり、おむつ替えを嫌がったり、感情表現も豊かになります。「大きな音が出て、びっくりしたね」など、「状況+感情」で会話をすると、感情と言葉が少しずつ結びついていきます。行動範囲も広がり、目が放せなくなります。危険なときは本気で叱って止めます。このとき、普段笑顔でいることがポイント。急に怒った表情になることで、本気の「ダメ」が伝わります。なんとなく「ダメ」を繰り返すのではなく、叱る条件を決めておくといいです。

先輩パパより
子どもはママの笑顔が好きだから

ママア

子どもはイタズラも覚え、自己主張も強くなるので、ママは自分の思いどおりにいかずイライラ、心配事もいっぱい。パパは子どもといっぱい遊ぼう!子どもは楽しく、ママの時間もできる!

パパが子どもと遊んでいる間に、家事を思いっきりするのが好き。何かを最後までやり遂げることはストレス解消になります!パパありがとう~!

ママは毎日子育てで奮闘した姿をパパに話したくて帰りを待っています。楽しく聞いてくれて、一緒に考えてくれると、「私にはパパという子育て仲間がいる」とほっとします。子どものわがままもパパと一緒に笑って楽しめるから不思議です。

子どもの記録

年月日	体重 g
	身長 cm
子どもの様子	

子どもと遊ぼう!パパはおだづもっこ!

ふわふわティッシュ

どこの家庭にでもあるティッシュが、遊び道具に大変身!1枚とって上からひらひら♪ゆっくり落ちてくる様子に興味津々。ティッシュを追いかけて大喜び!「みてみて!とれたよ~!」と満面の笑み。パパも仕事で疲れていても、これならソファーに座ったままでもOK!ボールだと取るのも難しいし、何より室内では狭くて危ない。アイデア次第で、遊びはまだ広がります。皆さんぜひ、遊んでみてくださいね!



寝る前に絵本の読み聞かせをしていると、自然と兄弟も寄ってくる。楽しみにしている様子もある。



絵本を読んでもちゃんと聞いているのかな?と思いながら読んでいた。成長して話せるようになったら、字を読めないはずなのに、そのページの内容を覚えて話していた。効果はあると、実感。

先輩パパの絵本で遊ぼう

子どもと絵本を読むことは、子どもの喜怒哀楽の感情や想像力を育てます。親子のコミュニケーションの時間になるので子どもたちはそれが楽しいようです。自分のためにお父さんが時間を作ってくれていると感じるからこそ、安心して、絵本の世界に浸ることができるのでしょう。子どもにどう接したらよいか分からないというパパも、絵本の力を借りると難しくはないと思います。「あ、ダンブカーだ」と絵だけを見て話す子どもに「それはいいから、ちゃんと聞いて」なんて言わずに「続きはどうなるかな?」「○○ちゃんも(絵本と)同じことあった?」というように一緒におしゃべりしてもよいと思います。「今日はどの絵本にする?」と自分で選ばせるようにすることも長続きのコツです。



「とことん信じる」を習慣に

家族以外のお友だちと一緒に遊ぶことができるようになり、親が近くにいなくても構わずにどんどん自分の世界を広げていきます。親は、世界を広げるためのお手伝いをするのがとても大切です。それは「失敗もすべて大切な経験」と心に刻み、「命の危険や大けが以外のけがはほとんどんさせる」という肝っ玉父ちゃんになってみてください。大切なのは「見守る」事。そして自分で考えて決めることが既にできる子どもを

『とことん信じる』事。これって簡単なようですが意外と気合いが必要なので、一日も早く【習慣】にしてください。あとは、時間が許す限り一緒に遊んでください。息子からは「大きくなったら父ちゃんみたいになる」娘からは「お父ちゃんのお嫁さんになる」この言葉を聞いたら「はなまる」ですね~

(認定NPO 法人こども∞感ばに 代表 田中雅子)

いしのまきのパパだからこそ!

〈命を守る防災 3.11の体験から〉

家族を守るための「備え」を考える

防災は備えることが目的ではなく「生きてこそ」。『津波てんでんこ...津波が来たら、取る物も取り敢えず、肉親にも構わず、各自でんでんバラバラに一人で高台に逃げろ。』三陸の言い伝えです。今のみなさんはどうですか。子どものためだったらどんな場所にだって行く。自分の命は二の次だ。そう考える人も少なくないはず。



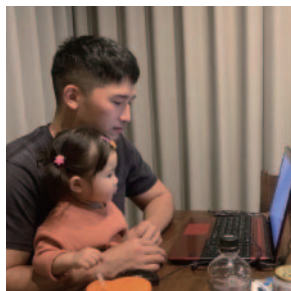
「津波てんでんこ」に見る4つの意味

- ・ 津波から助かるために人のことは構わずにでんでんバラバラに素早く逃げる。
- ・ 素早く逃げる人々が周囲に目撃されることで、逃げない人々に避難を促す。
- ・ 大切な人(子どもや家族)と「津波の時はでんでんこしよう」と繰り返し約束する。
- ・ 何かあった際には、お互いの約束としておくことで後悔や自責の低減に。

子どもの成長と世界の広がり

子どもが成長し、パパママと繋いでいた可愛くてしかたない小さな手は、保育園や幼稚園でお友達と繋ぐ手になり、小学校の帰りに寄り道して花を摘んでくる手になっていきます。

小学校の帰り道、また大きな地震がおきて逃げなきゃいけない、そんな時に、自分の命よりも大切な小さな手を取り、一緒に逃げてくれるのは地域の人かもしれません。



子育てパパの「備蓄品」「持ち出し品」チェックリスト

バッグに入れて持ちあげてみよう。かなりの大荷物。さらに子どもと一緒に。さてどうする?

家の備蓄リスト

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、レトルト、栄養補助食品、チョコレートなど3日分) | <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ、ティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 飲料水(一人当たり1日 2.5~3L) | <input type="checkbox"/> 貴重品(現金、身分証、通帳、印鑑など) |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯
(停電中は真っ暗でトイレに行くのにも助かりました。2つ以上) | <input type="checkbox"/> 軍手、長靴(足場が悪いとき、靴は大事です) |
| <input type="checkbox"/> マッチ or ライター、ろうそく | <input type="checkbox"/> ビニール袋(何にでも使える)、ビニールシート |
| <input type="checkbox"/> 雨具&防寒具 | <input type="checkbox"/> マウスウォッシュ or キシリトールガム |
| <input type="checkbox"/> 常備薬 | <input type="checkbox"/> メガネ、コンタクトセット |



子どものために地域とつながる



先輩 A: 防災も大事だけど、防犯も大事だとおもうんだよね。子どもを一人で歩かせるのが心配だよ。

B: 確かに。自分が子どものころは、「あの家には怖い犬がいるぞ!」「あの通りは暗いから通らないほうがいいよ」と口コミ情報があったけど、大人になったらそういう機会がないなあ。

A: 地域の人と話していると、そういう情報がたくさんGETできるよね。大人同士が知り合うことって、防災や防犯になって、子どものためになるんだね。



地域とのつながりというけれど、どうすりゃいいの難しい!と思う方もいると思います。まずは子どもと散歩したり...そしてすれ違う人に挨拶をしてみたり...徐々に子どもと地域の行事なんかにも...

停電が続き、暖かいものが手に入りませんでした。教訓として年中石油ストーブ・石油を備えています。



半日かけて浄水場へ水を汲みにいきました。水用のポリ缶を備えて釣り、キャンプなど日常でつかっています。



●防災ピクニックに出かけてみよう!

非常食の期限が近づいてきたら、備蓄品の見直しも兼ねて防災ピクニックに出かけてみましょう。避難所までのルートコースに入れて、荷物を背負って歩きながら危険箇所を確認したり、お弁当の代わりに非常食を食べてみましょう。備蓄品が自分たちに合ったものかどうか確認する機会にもなります。

BOUSAI
OUTDOOR

ツナ缶
の
つくりかた

① ティッシュを 指でぬじって7
半分に裂く ~8cmのこよ
りを作る



② ツナ缶にこよ
りより大きめ
のアナを開ける



③ 芯に油が染み込
んだら着火!!



④ ・1時間以上燃え続けます
・火が消えたら中身をおいしく
頂きましょう!!



用意するもの

- ・ ツナ缶(油漬け)
- ・ ティッシュ
- ・ モリや缶切りなどの穴を開けられるもの



家族が増えたらどうなる？



いぬづか Family

Q パパとママの役割分担はありますか？

お互い家事に使える時間帯が少しずつ違うので、それぞれが使える時間帯に必要なことをやっています。

Q パパ：子どもが増え、生活スタイルはどう変化しましたか？

仕事が自営なのもあり生活スタイルはあまり変わりませんが、関心事が子どもに関わるものになってきて、それが新鮮で楽しいです。

Q ママ：工夫していることは？

工夫というよりは気を付けていることかもしれないけれど、体調管理ですね。ひとりが風邪ひくと次々に……。長引きます。

Q パパ：子沢山で良かったこと。特に大変なこと。

良かったのは、やっぱりにぎやかで毎日楽しいこと。大変なことは、子どもが小学生になり習い事とか始めたら時間の使い方が難しい。2人目3人目の習いたいことが違ったらどうしよう？と今からドキドキ。

Q ママ：これからのママさんへ伝えたいこと

家事で家族が協力してくれないことは家族で諦めてもいいと思います（笑）責任感を抱え過ぎず、自分も大切にしてくださいね。

Q パパ：これからのパパさんへ伝えたいこと

子どもが生まれてからの年月＝パパ層で出来ないことだらけですが、パパも子に育てられながらパパを楽しみましょう！

～いこうぜ、ピリオドの向こう側へ～ そのときパパは・・・



ごとう Family

Q パパとママの役割分担はありますか？

基本平日はパパの帰りが遅いため、子どもたちのこと、家事はママの役割です。パパがいてくれる土日は家族みんなであそんだり、お風呂いしてもらったりします。平日パパが帰ってきたら、その日の出来事を話すコーヒータイムをもうけ、お互いに話を聞きあったり、パパが頑張ってくれているから、仲良く楽しくられることを話します。

Q パパ：子どもが増え、生活スタイルはどう変化しましたか？

平日は仕事でなかなか時間がとれないので、その分、土日は家族と過ごすようにしています。どこに行くのも、なにをするのも団体行動になります（笑）

Q ママ：工夫していることは？

6人もいると、なかなか、一対一の時間をとってあげる事はむずかしいですが、タイミングがとれた時に「ママと2人のヒミツね」と、おやつを食べたりなど、ちょっとだけヒミツをつくってあげます。

Q パパ：子沢山で良かったこと。特に大変なこと。

良かったことは、とにかくにぎやかで、毎日お祭りみたいです。大変なのは、よく名前をいいまちがえてしまうところです。

Q ママ：これからのママさんへ伝えたいこと

私自身は2人きょうだいで、大家族にあこがれていました。自分がまさか6人のママになれるとはおもっていませんでした。毎日がとてもにぎやかで、あつというまにすぎますが、常に笑いがたえず、うちの中は明るいです。子沢山は大変なこともあります、それ以上に子ども達が幸せにしてくれます。

Q パパ：これからのパパさんへ伝えたいこと

ママに、なにごとにもやってもらっているという気持ちをわすれずに。